



Global Vascular株式会社

会社説明

【設立の背景とミッション】 Global Vascular株式会社は、2022年12月に設立された慶應義塾大学発の医工連携スタートアップです。同社が取り組むのは、世界中で2億人以上がリスクに晒されている「末梢動脈疾患（PAD）」という深刻な課題です。加齢や生活習慣病により足の血管が詰まるこの病気は、重症化すると歩行困難や足の切断に至り、患者のQOL（生活の質）を著しく低下させます。同社は「一生、自らの足で歩き続けられる未来」を創造することをミッションに掲げ、日本が誇る精密な技術力を武器に、世界の医療現場が抱える未解決の難題に挑んでいます。

【革新技術：BioStealth™テクノロジー】 同社の核心となるのは「BioStealth™（バイオスティルス）」と名付けられた独自のプラットフォーム技術です。従来のステント治療では、血管内に異物（金属）を留置することによる血栓の付着や、血管の再狭窄が課題となっていました。特に膝下の非常に細い血管においては、この課題が顕著であり、世界的な医療機器メーカーですら決定的な解決策を見出せていません。Global Vascularの技術は、ナノレベルの表面制御によりステントを血管組織に「ステルス化（同化）」させます。これにより、体内の免疫反応を抑えながら細胞の定着を促進し、ステントが血管の一部として機能することを目指しています。この独創的なアプローチは、医療デバイスの歴史における大きな転換点として、国内外の学会や投資家から極めて高い注目を集めています。

【事業の現状と将来性】 設立から短期間で、同社は日本政府系機関であるNEDOの「ディープテック・スタートアップ支援事業」に採択されるなど、その技術の公共性と革新性が公的に認められています。また、2025年6月にはシリーズBラウンドにて総額10億円の資金調達を実施。これにより、開発中のBTK（膝下）用ステントの臨床治験準備や、さらなる製品ラインナップの拡充、グローバルな知財戦略を加速させています。将来的には足の血管に留まらず、全身の血管系、さらには人工臓器への応用も見据えており、日本発の技術で世界の医療スタンダードを塗り替えるポテンシャルを秘めています。研究開発、製造、品質管理、薬事申請など、あらゆる職種において「世界初の製品を世に送り出す」という高い志とプロフェッショナリズムが求められる、極めてエキサイティングな成長フェーズにある企業です。

会社概要

本社所在地

日本

事業内容

医療機器（主に末梢動脈疾患用ステント）の研究開発、製造、販売、およびコンサルティング。世界初のナノテクノロジーを用いた「BioStealth™（ステルス）」技術により、血栓付着を抑制し血管と一体化する次世代ステントの開発を行っています。

代表取締役

代表取締役CEO 尾藤 健太 / 代表取締役CTO 前川 駿人

設立年

2022年12月12日

資本金

90,000,000円

オフィス情報

メインオフィス

〒1010051

東京都千代田区神田神保町1-28-1

mirio神保町11F